

【重要】 職員の新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ（第3・最終報）

9月3日に、病棟看護師1名が新型コロナウイルスに感染していたことを報告しました。今回は最終報告をさせていただきます。

その後、濃厚接触が疑われる職員7名に自宅待機を命じ、当該病棟の患者さん46名と当院職員50名の計96名のPCR検査を実施した結果、9月6日に95名の陰性を確認できましたが、同じ病棟の看護師1名の感染が判明しました。このことを受け、新たに感染が判明した看護師との濃厚接触が疑われる職員8名を保健所の指導の下9月19日まで自宅待機を命じました。

自宅待機による人員不足に伴い、当該病棟の受入れ停止および9月7日から新型コロナ検査外来を停止しましたが、自宅待機を命じた職員も一部が復帰し、9月16日から新型コロナ検査外来を再開することができました。また、現時点でも、自宅待機中の職員は居りますが、不調を訴える者は出ておりません。

人員不足が一部解消されたことに伴い、当該病棟においては、保健所の指導の下感染対策を講じ、環境を整備したうえで9月18日から通常診療とさせていただきます。

患者さんをはじめ、多くの方々に大きな不安を与えてしまいました事を大変申し訳なく思っております。

今後も保健所の指導の下、引続き感染対策、医療安全対策を徹底し、良質で安全な医療を提供できるよう職員一同全力で取り組んで参ります。ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

公立学校共済組合関東中央病院
病院長 新家 眞